

東日本大震災 岐阜民医連支援ニュース

=こころは一つ、オール民医連で全国の仲間とともに困難を乗り越えよう！=

NO. 27

2011. 5. 10 岐阜民医連支援対策本部

5月から金土作戦「移動何でも相談会」！開始

第1陣にみどり福祉会の林さん、太田さん、西濃医療生協の堀井さん

5月からあらたに宮城県災対連・東日本大震災共同センターのとirikみで、各団体と協力しながら、金土作戦「移動何でも相談会」がとりくまれます。13・14日は石巻地域で実施の予定で、炊き出し、救援物資の配布、各種相談活動、要求・要望聞き取りアンケートなどを行います。今回、岐阜からはグループホーム北山の林由美さん、太田あや子さん、西濃医療生協の堀井聡至さんの3名が参加の予定です。

支援隊（宇野、須田、玄）元気に帰任

4月24日から現地支援に出かけていたすこやかデイサービスの宇野麻子さん、梅子の家デイサービスの須田哲也さん、みどり病院の玄智子さんの3名は、現地で避難所支援や地域訪問などを5日間にわたり行い、4月30日に元気に帰任しています。詳細報告は追ってお知らせします。

今日までの支援者数：25名

医師：5名

看護師：5名

薬剤師：1名

理学療法士：1名

事務：5名

ケアマネ：2名

介護福祉士：3名

学生：2名

友の会：1名

原発・放射線の影響に関して緊急学習会を開催！！

5月21日(土)勤医協の社員総会終了後、今福島原発で何が起きているのか、放射線の健康への影響はどうかなど、全日本民医連緊急被ばく事故対策本部の平野治和医師(福井光陽生協病院院長)をお招きし、緊急の学習会を開催します。浜岡原発の停止など原発に関する関心が高まる中、放射線に関する正確な知識と原発政策を考える絶好の機会です。多くの職員の皆さんの参加を期待します。

緊急学習会のご案内

どなたでも参加いただけます(参加費無料)

「福島原発事故 今、起きていること —放射線の健康影響—」

全日本民医連は、東日本大震災直後から緊急医療支援に取り組み、のべ1万1千人に上る支援と2億円の募金を現地に届けてきました。岐阜民医連も25人、のべ150日の支援を行ってきました。同時に、1953年創立当初から取り組んできた被曝医療の経験を活かし、東京電力福島原発事故に対する声明(見解)を発表、学習会の講師活動、現地調査等を行ってきました。そこで、現地福島をはじめ、各地で学習会の講師を務めてこられた平野治和医師をお招きして、福島原発で起きていること、健康への影響について学習会を企画しました。民医連職員はじめ、どなたでも参加自由(参加費無料)です。ぜひご参加ください。

時：5月21日(土)17時～19時

場所：ケアハウスささゆり「地域交流ホール」

岐阜市北山1丁目15-25 電話：058-244-1200

主催：岐阜県民主医連機関連合会

岐阜市北山1丁目14-7 電話：058-244-3551(高田・佐藤まで)

講師のご紹介

平野治和医師
光陽生協病院(福井市)院長
1978年金沢大学卒・
内科一般(医事院一一般内科)
全日本民医連の緊急被ばく事故対策
本部会議メンバー(顧問)
著書：『原発脚
座で降り診療
所』(かもがわ
出版)



今後の支援予定

5月12日(木)～5月15日(日)

林由美(グループホーム北山介護職員)

太田あや子(グループホーム北山介護福祉士)

堀井聡至(西濃医療生協理学療法士)

5月23日(月)～5月27日(金)

西尾大樹(みどり病院医師)

井坂康子(みどり病院看護師)

馬場千恵子(みどり病院3階病棟看護師)

久富徳之(みどり病院事務)

廣瀬政美(医学対事務)

岐阜大学医学部1年生

※
支

援対策会議は毎週木曜日の週1回となりました

全日本民医連の定期バスが15日で終了となります。15日以降支援に参加される方は、東北新幹線利用となる予定です。なお、5月の支援予定はすでに決定済みです。6月以降の支援については、全日本民医連から方針が出次第お知らせします。

義捐金給与天引きまだ受け付けています。5月分は16日までお願いします。

5月8日現在の義捐金集約：3,502,644円です